

令和6年4月26日

奥州市議会政務活動費収支報告書

奥州市議会議員 宛

令和5年度分の政務活動費の収支を次のとおり報告します。

1 議員氏名 廣野 富男

2 収入

項目	金額	内訳
政 務 活 動 費	144,000 円	@12,000 円×12 月
自 己 負 担	1,469 円	
合 計	145,469 円	

3 支出

項目	金額	内訳
研 究 研 修 費	3,180 円	別紙のとおり
調 査 旅 費	63,250 円	別紙のとおり
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	29,700 円	別紙のとおり
広 報 費	49,339 円	別紙のとおり
広 聴 費	円	
要請及び陳情活動費	円	
会 議 費	円	
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	
合 計	145,469 円	



令和5年度 政務活動費 支出内訳表

議員名	廣野 富男
-----	-------

項目	整理番号	金 額	内 訳
1 研究研修費			
	01-01	3,180	市政調査会活動費負担金
	小 計	3,180	
2 調査旅費			
	02-01	63,250	奥州みらい会派行政視察旅費（愛知県豊橋市、豊明市、岐阜県中津川市）
	小 計	63,250	
3 資料作成費			
	小 計	0	
4 資料購入費			
	04-01	29,700	情報誌等
	小 計	29,700	
5 広報費			
	05-01	34,359	奥州みらい会派会報「奥州みらい通信No.7」の発行と配布
	05-02	5,900	11/23議会活動報告 会館使用料及び資料代
	05-03	9,080	2/24市政報告会 資料コピー代
	小 計	49,339	
6 広聴費			
	小 計	0	
7 要請及び陳情活動費			
	小 計	0	
8 会議費			
	小 計	0	
9 人件費			
	小 計	0	
10 事務所費			
	小 計	0	
合 計		145,469	

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 01
			支出整理日	令和 05 年 06 月 30 日
令和 5 年度	議員名	廣野 富男	支出項目	研究研修費

金 額	3,180	円
-----	-------	---

使 途： 市政調査会活動費負担金

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	負担金	R05-06-30	6, 000	2, 820	3, 180
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			6, 000	2, 820	A 3, 180
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 3, 180

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

受 領 書

金 6, 0 0 0 円也

ただし、市政調査会活動費負担金 (@6,000×1 人分) として、上記のとおり正に受領いたしました。

令和 5 年 6 月 30 日

廣 野 富 男 様

奥州市議会市政調査会

会長 菅原 明 

返 還 通 知 書

金 2, 8 2 0 円也

ただし、令和5年度市政調査会活動費負担金の返還
金として上記のとおり返納いたします。

令和6年3月31日

廣 野 富 男 様

奥州市議会市政調査会

会 長 菅 原 明



政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 01
			支出整理日	令和 05 年 10 月 03 日
令和 5 年度	議員名	廣野 富男	支出項目	調査旅費

金 額	63,250	円
-----	--------	---

使途：奥州みらい会派行政視察旅費（愛知県豊橋市、豊明市、岐阜県中津川市）

視察日：10月2日（月）～4日（水）

No.	支出の明細		支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	JR（水沢江刺～豊橋）10/2		R05-09-26	120,660		120,660
2	JR（豊橋～多治見）10/3		R05-09-26	8,700		8,700
3	JR（多治見～中津川）10/4		R05-09-26	4,620	300	4,320
4	JR（中津川～水沢江刺）10/4		R05-09-27	136,440	12,420	124,020
5	宿泊費10/2		R05-09-26	52,800		52,800
6	宿泊費10/3		R05-09-26	56,040		56,040
7	企画手配料金・JR発券手数料		R05-09-26	15,000	15,000	0
8	私鉄（駅前～市役所前）		R05-10-02	2,160		2,160
9	私鉄（前後～金山）		R05-10-03	2,160		2,160
10	視察先お土産（3か所分）		R05-09-30	8,640		8,640
合 計				407,220	27,720	A 379,500
按分の内容		6人			按分割合	B 1 / 6
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））						C 63,250

備考	領収書は、奥州みらい共通経費整理票02-01に添付

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

政務活動費 支出整理票			整理番号	04 - 01	
			支出整理日	令和 05 年 06 月 27 日	
令和 5 年度	議員名	廣野 富男	支出項目	資料購入費	
金額29,700円					
使途： 情報誌等					
No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	議員NAVI Plus	R05-06-27	25,300		25,300
2	実践自治Beacon Authority	R05-06-23	4,400		4,400
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			29,700	0	A 29,700
按分の内容			按分割合		B
按分後対象支出額（A×B（按分がない場合はA再掲））					C 29,700
備考	No.1は、2023年4月から2024年3月分。支払日は入金したR5.6.27				
	内訳 2023年4月、5月 1,650円×2か月＝3,300円				
	2023年6月～2024年3月 2,200円×10か月＝22,000円				
領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）					

領 収 証		No. 033879
廣野 富男 様		印 紙
¥ 25,300.- 内 訳		
品 名 (号数又は型式)	数 量	金 額
議員NAVI Plus (2023年4月～2024年3月)	1	25,300
上記の金額正に領収致しました 2023年6月27日(ご入金日) 発行日: 2024年5月16日		
第一法規株式会社 代表取締役社長 中 英 弥 〒107-8560 東京都港区南青山2-11-17 TEL 03-0120-203-695		
取扱者印		

令和6年5月16日

廣野 富男 様

第一法規株式会社
販売促進第二部(東北エリア)

書類送付のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
下記の通りご送付いたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

【送付書類】

◆議員 NAVIplus 領収証 (2023 年 4 月～2024 年3月分)

※金額内訳

2023 年 4 月、5 月 1,650 円×2ヵ月=3,300 円(税込)
2023 年 6～2024 年 3 月 2,200 円×10 ヶ月=22,000 円(税込)
合計 25,300 円(税込)

金額は、期間内に価格改定がありましたので、上記の内訳となっております。
領収証の日付は、ご入金(お振込み)いただいた日付を記載しております。
令和 6 年度分の領収証は、令和 7 年 3 月にお送りする予定です。
どうぞよろしくお願いいたします。

以上

【連絡先】第一法規株式会社 販売促進第二部(東北エリア)

営業担当

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-6-1
TEL 022-223-8147 FAX 022-223-8148

振替払込請求書兼受領証

記帳事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	0010006	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	イマジン出版株式会社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 4 4 0 0	
依頼人	岩手県奥州市江刺区稲瀬字大文字: 廣野 富男 様	
料金	日 附 印 05-07-03 T501000111 2730 ユウちょ	
備考	(83180) N94110003	

この受領証は、大切に保管してください。



No. 45987

請求書

2023年06月23日 頁 1

廣野 富男 様

下記の通り御請求申し上げます。

15466

¥4,400

イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

TEL 03-3942-2520

FAX 03-3942-2623

1	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	Beacon Vol.94(夏号),Vol.95(秋号),Vol.96(冬号),Vol.97(春号)	4	1,100	4,400
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要	合計	4		4,400

振込口座 三菱東京UFJ銀行 1277831イマジン出版株式会社

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 06 年 02 月 20 日
令和 5 年度	議員名	廣野 富男	支出項目	広報費

金 額	34,359	円
-----	--------	---

使途： 奥州みらい会派会報「奥州みらい通信No.7」の発行と配布

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷代 18,000部	R06-02-20	128,700		128,700
2	新聞折込料 17,350部	R06-02-20	77,456		77,456
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			206,156	0	A 206,156
按分の内容 6人			按分割合	B 1 / 6	
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 34,359

備考	領収書は、奥州みらい共通経費整理票05-01に添付

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 02
			支出整理日	令和 05 年 11 月 23 日
令和 5 年度	議員名	廣野 富男	支出項目	広報費

金 額	5,900	円
-----	-------	---

使 途： 11/23議会活動報告 会館使用料及び資料代

会 場： 臼田自治会館

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	会館使用代	R05-11-23	2,000		2,000
2	懇談会資料代	R05-11-22	3,900		3,900
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			5,900	0	A 5,900
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 5,900

備考	No. 2 資料印刷 780枚×5 円

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

領 収 証		廣 野 富 男 様	No. _____
★ 2000-			
但 会館使用代 212			
令和5年11月23日 上記正に領収いたしました			
収 入 印 紙	内 訳	邑田自治会 菊池 誠孝	
	税抜金額		
	消費税額等(%)		
コクヨ ウケ-107			

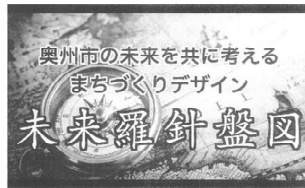
領 収 証		奥州市議会議員廣野富男 様	No. _____
★ 7,3900-			
但 懇談会費代り			
5年11月22日 上記正に領収いたしました			
収 入 印 紙	内 訳	稲瀬振興会 事務局長 菊池 照彦	
	税抜金額		
	消費税額等(%)		
コクヨ ウケ-1097			

ひろのとみお市議との懇談会次第

令和5年11月23日

邑田自治会館館

- 開 会 進行：邑田自治会長：菊池誠孝行（地元支部長）
- 支部長（自治会長）あいさつ
- 市政報告（市議より）
 - 報告
 - 質疑
- 懇談会 最近気になること、困っていること、この機会に要望したいことなど
普段感じていること、疑問に思っていることなどフリーに話し合い
- その他
- 閉 会



奥州市は、北山山脈と奥山山脈に挟まれた広大な市域を持ち、その中心を北上川が流れる肥沃な地帯です。市の発展の礎と成っており、前沢平、江刺りんごをはじめとする質の高い農産物の産地です。

自然豊かな土地ながら、市の中央を新幹線や高速道路が走り、市街地とのアクセスも良く、北上や金ケ崎とともに自動車、半導体産業の一大集積地となっています。

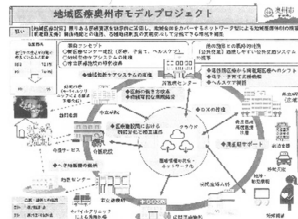
こうした背景から、江刺市域の江刺工業団地に隣接している江刺アロディアエリアは成長し、新市域には人口を増える見込みがあります。

これは、人口減少に悩む奥州市に大きなチャンスです。この機を逃すことなく、新たなまちづくりを進めることが重要です。

まちづくりを進める上での注目点！
人口減少社会において、持続可能なまちづくりを進めるためには、成長を遂げた地域的な方針が必要です。

- 『奥州市のまちづくりのコンセプト』
- ◆ 奥州市の将来を担う人に投資するまちづくり
 - ◆ 地域の特徴を生かしたまちづくり
 - ◆ 市民の皆様と協働し、民間の資本やノウハウを取り入れた市民共創によるまちづくり

いつまでも住み続けたいくなる魅力あふれるまちの形成
『奥州市未来都市計画』は、こうしたまちづくりを進めるための「まちづくりの設計図」であり、8つのプロジェクトから成ります。それぞれのプロジェクトは相互につながり、補完し合いながら都市活動をまわし、奥州市全体の発展につながります。



市街地開発プロジェクトにおける留意点

人口減少社会では、人口密度の低下とともに空き家、空き地が増え、都市のスポンジ化が進む恐れがあります。

そうすると医療、福祉、子育て支援、商業など生活サービスの提供の維持が困難になり、行政コストの増加も懸念されます。

持続可能なまちづくりをすすめるためには居住や都市機能を集約し、一定の人口密度を維持することが必要です。

こうした観点から、市は今年度中に立地適正化計画を策定し、居住と都市機能を誘導すべき区域をそれぞれ定め、今後それらを誘導するための各種施策を実施します。

最後に、

経済や人口が右肩上がりだった時代と異なり、現代社会は厳しい状況です。

だからこそ、様々な社会課題に果敢に挑戦することが求められます。社会課題を他人事にせず、当事者意識をもって行動がまちづくりに最も大切です。

変革が個体だと思わずに陥ることなく、市民の皆様とともに、あらゆる可能性を探り、解決策を見出していきます。

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 03
			支出整理日	令和 06 年 02 月 22 日
令和 5 年度	議員名	廣野 富男	支出項目	広報費

金 額	9,080	円
-----	-------	---

使途： 2/24市政報告会 資料コピー代
会場：ホテルニュー江刺

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	コピー代	R06-02-22	8,400		8,400
2	コピー代	R06-02-22	680		680
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			9,080	0	A 9,080
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 9,080

備考	No. 1 1680枚× 5 円
	No. 2 136枚× 5 円

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

領 収 証		市議会議員 廣野富男 様 No. _____	
★ 48,400-			
但 口座引当			
R6 年 2 月 22 日 上記正に領収いたしました			
収 入 印 紙	内 訳		
	税抜金額	7	
	消費税額等 (%)	7	
コクヨ ウケ-1097		稲瀬振興会 事務局長 菊池 照彦	

領 収 証		市議会議員 廣野富男 様 No. _____	
★ 4680-			
但 口座引当			
R6 年 2 月 22 日 上記正に領収いたしました			
収 入 印 紙	内 訳		
	税抜金額	7	
	消費税額等 (%)	7	
コクヨ ウケ-1097		稲瀬振興会 事務局長 菊池 照彦	

市政報告会並びに講演会

令和6年2月24日(土)
ホテルニュー江刺本館



1. 令和6年度奥州市の政策

○予算規模 606億円

(一ノ関678億円、北上市465億円、花巻市554億円)

○主なものとして、新医療センター整備基本計画の策定

メイプル再生や江刺市街地開発の基本構想の策定

奥州湖周辺エリア活用整備促進

小さな拠点づくり

江刺工業団地内道路整備

○特に農業分野で米の輸出政策(この3月JA江刺とオーストラリア領と契約の上、試験的に輸出)や民間ファンドとの連携しながら、農家の経営力を高める年。

2. 私たちが今年取り組むべきもの

1) 水田活用直接支払制度「5年水張ルール」の選択の年

2) 今後20年で基幹的農業従事者1/4の30万人に急減する中

農地の将来を決める人・農地プラン「地域計画」の策定と併せ

農地中間管理機構を活用した「機構集積協力金」「集約化奨励金」を活用

しよう

3. 懇談会の実施状況

別紙の通り

4. 2月定例会一般質問 令和6年2月27日(火)午前11時より

今回のテーマ: 1) クラウドファンディングの活用

2) 目指すべき農業の将来像

3) 江刺地域のへき地医療

5. 講演会「日出る伊手の農村RMOへの挑戦」

講師: 伊手農情農業活性化協議会事務局長 境田 洋春

令和5年度 市政報告会と懇談会実施状況

実施日: 令和5年8月10日～12月16日 参加者数 9会場 126名
令和6年2月24日 参加者数 ホテル会場 69名
実施箇所: 内倉沢自治会・一区自治会・宝峰自治会・沼館自治会・大谷自治会
八幡自治会館・田目自治会・沼尻自治会・三丁自治会

《主な意見・要望》

1. 農家後継者不足
2. 改良区費が高く水田はいらない。年金収入では支払できない。荒地しかない。
3. 除雪遅く、雑、新幹線道無縁な除雪。北上市と同レベルの除雪を
4. 結婚問題、産科を市には一つ設置を。分娩施設が欲しい。
5. 県道の改良。田谷川橋からたてのやまでの歩道設置 → 稲渚振興会で要望中
6. たてのや前の信号手前には折ライン、沼尻方面への右折ラインの設置を(朝の渋滞緩和)
→ 振興会と共に交通量調査の上要望活動を予定
7. 小学校前の舗装改良を → 東側児童昇降口前は舗装の予定



8. 空き家の対応

9. ごみの氏名記入

10. 法面・畦畔・水路等の草刈り

12. 空き家(安部宅) いぐねの草刈り

13. 西側の団地坂道のロードヒーティング化 → 南側の未施工部分令和6年度で実施

14. 南側の1レーンを2レーン化(時間帯変更) → 北側の複線化令和6年度で実施設計

15. 地味課題: 農業後継者(跡取り)問題

16. 区長制度の必要。広域物の配布のみで自治会長手当より高いのでは。

17. ササナホールどうなる。 → 令和6年度江刺市街地開発構想の策定

18. 江刺病院の存続 → 令和6年度 病院2階に集約のため工事予定(あくまで噂)

19. 農業関係 水利、転作関係

20. 市財政は大丈夫か → 厳しい状況ではあるが、貯金にあたる財政調整基金は回復

21. 農業に対し支援を → 令和6年度市場開拓にチャレンジ(輸出米&民間ファンド)

22. ごみの有料化は考えているのか、→ 令和6年度議会において有料化に向け検討を始める

23. 大谷耕平の功業はあるのか
→ 水沢美術館シームズをはじめ、聖地蔵社の地として全国から大谷ファンが

多く訪れている。市では令和6年度、ボスター、応援グッズの作成をはじめ企画展

やバブリックビューイングなどを企画している。

24. 病院の建替えるようだが本庁舎の建替えるの予定はあるのか→ 計画には翻上していない。

令和5、6年度で庁舎長寿化のため外壁修繕工事中

25. 結婚できない若者が多い出会いの創出を考えてほしい。→ JA江刺で実施中

令和6年度結婚新生活支援補助金を創設、最大60万円を助成

今日の懇談会内容

R5.9.9 作成・常緑自治会館

1. 市政報告概要

1) 農業光熱助力費高騰対策支援事業：前年農業収入の1%を支援

- ① 事業費 生活者支援4事業32,824千円、事業者支援15事業556,575千円
② 交付対象者 8,655人、総額235,399千万円、9月交付、10月以降順次交付
農業収入が10万以上(見直し期：県平又は500万円以上)
③ 積算方法 米生産者に20倍の県平的光熱助力費・農用費の割合
及び価格高騰率(定率1%)

2) 江刺新工業団地 令和6年3月から10月に延期 事業費31億円。

- ① 堀 市：スレーピング(産廃による岩石の土砂化現象)→排水施工管理の強化
② 工事費：変更前2,190,127,000円→変更後 3,104,443,100円
(914,315,600円増)
内訳：土壌の含水率対策経費 714,354,000円
周辺道路舗装工及び緑地セラミック舗装工 199,961,600円
③ 工期変更：令和6年3月末日→令和6年10月31日

3) メイブル 2億6千万で8月取得

- ・サブライトオフィスや学びスペース、公共スペースとして利用。
 - ・取得後、管理運営費として年間60,323千円増し、
 - ・将来的には民間等と連携した運営・管理を目指すも、
- 当面市直営で管理予定。

《メイブル活用コンセプト》

「ビジネスゾーン」

(～2025年10年後)

- サブライトオフィス、電子オフィス、テレワークスペース
- 専門学校、フードコート、催事・イベント等スペース貸貸

「高齢ゾーン」

(～2025年10年後)

- 学びスペース
・施設向け研修講座、・協働のまちづくりアカデミー
・社会人を対象としたリカレント教育
- 実証・健康スペース
・チャレンジショップ、

データ管理のクラウド化、RPA導入(ロボットによる業務自動化)
による業務の効率化

12) 検討ステップ(スケジュール案)

- R4～5年度 地域支援実用モデル
R5～6年度 公立病院経営強化プラン策定、
医療センター基本構想・基本計画策定
病院新設・立替等に係る関係協議
R7～8年度 基本設計、病院新設・立替等に係る関係協議
実施設計
R8～9年度 工事進行
R10年度 開所

- 13) 予算規模 建設費：ベット1床あたり2,500万円×80床＝約20億円
子育て支援スペース、ヘルスクラススペースの含むと約30億円
運営機関連連費6億、稼働費1億、新休養6億、予備費
8億、合計約35億円 一般会計と事業会計1/2負担で
年間約1億を見込む。(25年後還か?)

- 5) 観光施設等の民間移譲に伴う行政支援
(株)ひめかゆに令和5年度に限り3,750万円の追加支援
建物・施設等無償譲渡のほか、修繕費に5,000万円
5年間の経費継続と安定経営支援として毎年500万円
源泉ボンプの交換修繕費市負担、温泉赤を市所有

- 6) 農業経営基盤強化促進法改正に伴う地域計画の策定
10年後の耕作者を明確化(1筆毎・集落ごと6年度内)

- 7) 江刺クリーンパーク年内閉鎖か？
令和6年3月末閉鎖予定が、利用者の減少により、当初の維持管理費
約1億円(2年間の予算額8,000万円)が底をつきそうのため、このまま入場料収入が
当初見込みより減少した場合、繰上閉鎖もあり得ると当局の考え方が示された。

- ・地方創生包括戦略推進業務企業による取組み紹介

○交流スペース

- ・市民交流多目的スペース
- ・学生やビジネスユース向けスペース

「公共ゾーン」 (～2025年10月～20年後)

○公共・行政スペース

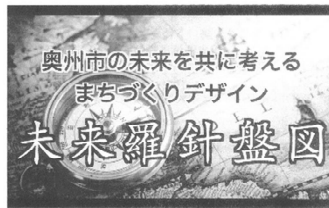
- ・有事機能
移住、市民活動、多文化共生、生涯学習など
- ・公共機能
市民活動支援センター、異種相談支援センター
[旧]地区勤労者福祉サービスセンター、シルバー人材
センター、ジョブカフェ、結婚サポートセンターなど。
- ・子供支援機能
子育て支援機能、エンゼルカフェ、親子ライブラリーなど

- 4) 総合水沢病院立替から新医療センター建設へ
建設費30億円+移転解体機関連連費20億円

■新医療センターの機能案

○広域

- 1) 性暴力回復部をメイン、介護士から在宅医療まで幅広い医療の提供
 - 2) 外来等：一般外来、入院対応、遠隔等
 - 3) 救急：基本は県民病院に依存
 - 4) 感染症対策：関係機関と継続協議
 - 5) 基幹包括ケア：まごころ病院と連携、訪問看護ステーション機能の強化
リハビリテーション機能365日対応など充実強化
 - 6) 小児医療：外来の休日対応
 - 7) 病床数：80床(現病床数より84床削減)
 - 8) 母子：子育て支援：産前産後ケア、子育て相談の強化、
産後思慮室、子どもの遊び場の設置
 - 9) ヘルスケア：高齢者のフレイル対策(身体的・精神的・社会的な転落化)
検診事業、健康増進事業、口腔検診・口腔ケアロビーの開設
 - 10) 行政：在宅医療連携拠点の設置、健康こども館、水沢健康センターの
移設
 - 11) デジタル：情報共有プラットフォーム(情報が行き交う場)の構築、
モバイルクリニクの運用
- *診療所のない地域に診療機能を備えた車を自宅等に設置して、
医師がオンラインで診療する



奥州市は、北上山地と奥羽山脈に挟まれた広大な市域を持ち、その中心を北上川が流れる肥沃な地帯です。奥州平原の東にあり、石炭、石油、鉄鋼工業をはじめとする資源の多い産業地帯の一角です。

自然豊かな土地ながら、市の中央を新幹線や高速道路が走り、首都圏とのアクセスも良く、北上や盛岡とともに関東、平塚、横浜圏の一大産業地帯となっています。

こうした背景から、江刺市域の江刺工業団地に新たに造成されている江刺フロンティアパークⅡは、数年後には1400人を超える雇用が見込まれます。

これは、人口減少に悩む奥州市に大きなチャンスです。この機を逃すことなく、新たなまちづくりを進めることが重要です。

まちづくりを進める上での注目点！

人口減少社会において、持続可能なまちづくりを進めるためには、将来を見据えた戦略的な方針が必要です。

《奥州市のまちづくりのコンセプト》

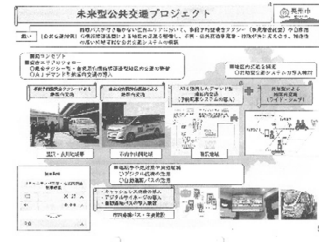
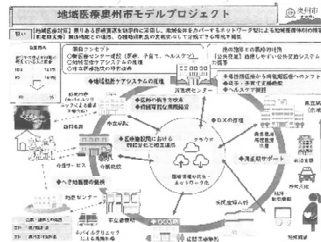
◆ 奥州市の将来を担う人に投資するまちづくり

◆ 地域の特色を生かしたまちづくり

◆ 市民の皆様の協働し、民間の資本やノウハウを取り入れた官民共創によるまちづくり

いつまでも住み続けたい魅力あふれるまちの形成

『奥州市未来羅針盤図』は、こうしたまちづくりを進めるための「手がかりとなる羅針盤デザイン」であり、各つのプロジェクトから読み取り、それぞれのプロジェクトは相互につながり、統合し合いながら発展を遂げ、奥州市全体の発展につながります。



市街地開発プロジェクトにおける留意点

人口減少社会では、人口密度の低下とともに空き家、空き地が増え、都市のスポンジ化が進む恐れがあります。

そうなる前に医療、福祉、子育て支援、商業など生活サービスの提供の確保が課題になり、行政コストの増加も懸念されます。

持続可能なまちづくりをすすめていくためには居住や都市機能を集約し、一定の人口密度を維持することが必要です。

こうした観点から、市は今年度中に立地適正化計画を策定し、居住と都市機能を誘導すべき区域をそれぞれ定め、今後それらを誘導するための各種施策を実施します。

最後に、

経済や人口が右肩上がりだった時代と異なり、現代社会は厳しい状況です。

だからこそ、様々な社会課題に果敢に挑戦することが求められます。社会課題を他人任せせず、当事者意識をもって行動がまちづくりに最も大切です。

変革が無理だと思わずに諦めることなく、市民の皆様の協働とともに、あらゆる可能性を探り、解決策を見出していきます。